

平成28年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立中之島小学校

校長名 馬場 秀典

作成日 平成28年4月26日

学校教育目標
豊かな心と学ぶ意欲をもち たくましく生きる子ども

豊かな心情をもち、
思いやりのある子ども

学ぶ意欲をもち、自らのめあて(課題)に向かって取り組む子ども

いきいきと活動し体育学習を楽しめる子ども

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力	体づくり
本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の人材を進んで活用する。 ○学校生活・行事等に関する情報を家庭・地域に積極的に発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな体験活動・交流の充実を図る。 ○すべての教育活動を通じて道徳教育の充実、人権意識の向上を図る。 ○挨拶や掃除等に積極的に取り組む態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善を進め、自分の考えを書くことを通して国語力の向上を図る。 ○基礎学力向上を図るため中之島タイムの取組を充実させる。 ○家庭学習の習慣化を定着させるため、家庭との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自発的、主体的に取り組む体育科学習を進める。 ○基本的生活習慣の定着を図る。
取組の具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者・地域の方々に学校便り、学年便り、保健便り等を通じて、学校の教育活動を積極的に知らせるとともに、支援・協力を依頼する。 ○ホームページの充実を図り、最新の情報を発信していく。 ○図書・英語・ベルマーク等についてボランティアの力を活用し、教育活動の充実を図る。 ○ふれあい給食や中之島作品展・運動会・授業参観等を通して地域の方々との交流を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の時間では、クラスの様々な出来事について丁寧に話し合い理解し合うとともに、「心のノート」等の資料を効果的に活用し、心の教育の充実を図る。 ○毎日のあいさつ運動や読書タイム等様々な場で、心を豊かにする取組を実施する。 ○保幼小連携教育による園児との交流を積極的に行い、思いやりの心を育むとともに幼保と小学校の円滑な接続ができるようにする。 ○地域の方や保護者ボランティアとの交流や、縦割り活動による異年齢交流を通して、より幅広い人間関係を構築する。 ○自尊感情の育成に向け、子どもたちが、「やった」「できた」という成功体験をもてるような授業や活動を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決学習・調べ学習・体験学習等を積極的に行い、「伝え合う授業」に繋げていく。 ○自分の考えを書き「伝え合う授業」を通して、言語力・コミュニケーション力の育成を図る。 ○毎朝の「読書タイム」や「うちどく」を通して学校と家庭が連携しながら「自ら本に手を伸ばす子ども」を育てる。 ○中之島タイムを通して、漢字や計算等の基礎学力について個別指導も取り入れながら学年に応じた内容の確かな習熟を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間計画に基づいて、子どもたちが進んで楽しく取り組む体育科学習を実践し、その成果を教科等別研修会で発表する。 ○「きのくにチャレンジランキング」に参加するほか、一輪車や縄跳びなど積極的に体力づくりに取り組む。 ○生活調べやアンケートより、子どもたちの生活実態をとらえ、学校と家庭が連携して基本的生活習慣定着に向けて努力する。 ○食事(給食指導等)を大切にし、感謝の心を育てるとともにたくましい体をつくる。